

令和3年8月5日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直通：257-6972

令和3年度病害虫発生予報第5号について

今後発生が予想される水稲、大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

- 1 予報期間 8月上旬～8月下旬
- 2 予報内容

(1)水 稲

紋枯病の発生は**やや多**と予想される。防除を実施していない場合は、発病を確認した場合、直ちに防除を実施する。

斑点米カメムシ類の発生は**やや多**と予想される。高温乾燥時には水田への侵入が促進されるので、防除を徹底し、斑点米の発生防止に努める【病害虫発生予察注意報第1号（令和3年7月8日付）参照】。

(2)大 豆

ハダニ類および**アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

カメムシ類の発生は**やや多**と予想される。幼莢期から子実肥大期に必ず防除を実施する。

フタスジヒメハムシの発生は**やや多**と予想される。汚斑粒の発生要因となるため、子実肥大期の防除を徹底する。

(3)果 樹

ナシ黒斑病の発生は**やや多**と予想される。耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ナシ黒星病および**リンゴ斑点落葉病**の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。

ハダニ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため同一系統の薬剤は連用しない。発生源となる下草を刈り取った後、防除する。

(4)野菜・花き

ネギ黒斑病の発生は**多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。

ハスモンヨトウおよび**シロイチモジヨトウ**の発生は**多**と予想される。若齢期の幼虫の防除を徹底する。

軟腐病の発生は**やや多**と予想される。作業中は作物を傷つけないよう注意するとともに、害虫防除を徹底する。

スイカつる枯病の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。ほ場の排水に努める。

ハダニ類および**アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。